

## 高野長英記念館の草木

### 立冬を迎えて

立冬を迎え 暦の上では冬到来 時雨とともに朝の気温が1けたとなる日もあり  
少しずつ 冬の足音が近づいてきています



色づいたアジサイ(左)とクロウメモドキ(右・シーボルトの木)(撮影 10月30日・11月7日)



秋空のカエデとイチョウ

(撮影 11月7日)



サザンカ(左)とチャノキ(右)の花

(撮影 11月9日)

\*冬の3館ウオークに参加したある小学生を見送ろうと、外に出たところ、その小学生がサザンカとチャノキを見て、「あっ、ツバキの花咲いている」とつぶやいていました。子どもの感性とはすごいものです。葉や花の形からおそらくツバキと判断したのでしょう。確かに、サザンカもチャノキも、ツバキ科の仲間です。また、サザンカは漢字で、山茶花と書きます。中国では、ツバキ科の木全般を山茶と書くそうです。その違いは、チャノキやツバキは花ごと散りますが、サザンカは花びらが散るといことです。散り方はさておき、来館した小学生の帰姿を見送りながら、この感性を大切にしながら成長して欲しいと願わずにはいられませんでした。



サザンカの花びら



チャノキの花